

● 審査員特別賞

「私たちに未来はあるのでしょうか」 浜松開誠館中学校・高等学校

◆ 2019年9月27日 朝刊 全15段 <西部版>

◆ 中部日本広告社 浜松支社 D:高橋裕一(中部日本広告社) P:根津聰子(CLAP) AE:濱林彰(中部日本広告社)

私たちに未来はあるのでしょうか

大人の皆さん、そして内閣総理大臣安倍晋三様、静岡県知事川勝平太様、各自治体首長様に心からお願ひを申し上げます。

今、気候危機により、地球は崩壊の道を歩んでいます。台風・豪雨・干ばつ、そして気温上昇により多くの生命が奪われています。地球温暖化が人類だけではなく、動物や植物、そして生活環境を破壊しています。

私たちに未来はあるのでしょうか。

本当に私たちが希望をもって、未来を育んでいけるのでしょうか。

大人の皆さんが決断して、行動してくださらないと20年、30年後は、想像することができないほど恐ろしい時代が私たちを待ち受けていることは、科学的に実証されています。

私たちはSDGsの学びを通して気候危機に強い関心をもち、世界同時グローバル気候マーチに参加をしました。

私たちは、9月20日保護者の皆さんとともに、浜松駅北口から浜松市役所までグローバル気候マーチを行い、浜松市長鈴木康友様に提言させていただきました。

大人の皆さんに責任を問うだけではなく、私たちもCO₂削減、学校、病院へのRE100プロジェクトの推進に励み、小さな力を結集して、美しい日本と地球を守っていきたいと思っています。

大人の皆さん、今を生きる者の責任と行動で地球の未来を救ってください。

未来を生きていく私たちの切実な想いに耳を傾けてください、ありがとうございました。

浜松開誠館中学校・高等学校
グローバル気候マーチ参加生徒一同



Save the earth
地球を守れ
Save the future
未来を守れ

本校の教育方針は「未来を育む教育」です。
生徒たちが主体性と勇気、そして決断力と行動力を発揮しました。自分たちの未来だけではなく、
地球市民として、すべての未来を危惧して行動した姿は、純粋で教育を超えた子どもたちの心意気
を示し、私たち大人に責任ある行動を促してくれました。

生徒の皆さんありがとうございます。

学校法人誠心学園理事長 高林一文
浜松開誠館中学校・高等学校校長 高橋千広



学校法人 誠心学園
浜松開誠館 中学校 高等学校

浜松市中区松城町 207-2 TEL.053-456-7111 <http://www.kaiseikan.ed.jp>

【企画意図】

浜松開誠館中学校・高等学校は2024年に創立100周年を迎え、「学校は楽しく学ぶ場」を教育理念に掲げ、愛情教育で生徒の主体性、資質能力を伸ばし信頼を得る学校を目指しています。広告作成について生徒の発案により気候変動による未来への問題意識を喚起する行動として気候変動マーチ(行進)を生徒中心に浜松市内で実施しました。同時に新聞紙面で行政機関にも啓蒙する事を意図し生徒主体の下、広告作品を作り上げました。